

**2021 年度報告書(楠城一嘉)**  
**静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門**

**Annual Report FY2021 of K. Z. Nanjo**  
**Division for Earthquake Prediction Research**  
**Global Center for Asian and Regional Research**  
**University of Shizuoka**

目次	ページ
1. はじめに	3
2. 活動実績等一覧	4
3. 問合せ先等	10

## 1. はじめに

本書では、静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授 楠城一嘉の 2021 年度活動報告をします。以下に、その活動概要を記します(文中の「No.」は、「2. 活動実績等一覧」を引用)。

- 熊本地震を調査し、「本震の前に発生した規模の小さい地震の活動が通常と違い、本震発生の兆候を示す特徴があった」とする研究成果を発表しました。熊本地域のような、活断層が分布する地域で大地震が発生した場合、大地震が隣接の活断層で続発する可能性があるかの評価に結びつく点で、地震防災上、重要な研究です。本成果は、専門科学雑誌「Tectonophysics」に掲載され(No. 1-1)、学術講演でも公表されました(Nos. 3-2, 3-4, 3-10)。また、メディアを通して報道されました(No. 8-7)。
- 富士山直下と伊東沖の火山地域で起きる低周波地震を検知する研究を開始しました(Nos. 3-1, 3-6, 3-7, 3-9, 4-7, 6-4, 6-6)。低周波地震は深部のマグマ活動との関係性も指摘されていて、「地下のより丁寧な監視に活用できる」と考えられます。用いた手法は雑音の中からも地震波を検知できるマッチドフィルタ法というもので、これまでの調査により、気象庁が観測した観測数より富士山では 1.5 倍、伊東沖では 8.4 倍多く低周波地震が起きていたことが分かりました。雑音に混じるなどして気象庁が切り捨てている微小な低周波地震も拾うことができたことによります。本研究に対する注目度が高く、火山防災の報道で取り上げられました(Nos. 8-6, 8-9)。
- 「地震と火山と防災のはなし」という書籍を刊行しました(No. 2-1)。これは、大学生や高校生に日本の自然に興味を持ち、防災の心構えを持ってもらえるように書いた読み物です。将来起きる南海トラフ地震までを視野に、地震、火山のメカニズムから、それに伴う災害への備え、地域や家庭での取り組みなどを分かりやすく解説しました。
- 「防災×環境×SDGs」と題した国際シンポジウムを開催しました(Nos. 6-5, 10-2)。これは、防災・環境問題を切り口として私たちは何ができるかを考え行動するきっかけ作りの SDGs シンポジウムです。オンライン配信となった本シンポジウムの聴講者は 200 名を超えました。演者の講演、活発な討論、聴講者からの多数の質問があり、盛況のうちに終了しました。また、2021 年度講座第 4 期「静岡で知っておきたい地震と火山と防災」として、小学生を対象とした「こども防災講座」を企画しましたが、コロナ感染拡大防止の観点から開催延期としました(Nos. 6-7, 10-1)。

## 2. 活動実績等一覧

論文 2 件、書籍 1 件、学術講演 10 件、研究費(申請中、不採択を含む)11 件、報告書 8 件、一般向講演(コロナ感染拡大防止のための延期を含む)10 件、学会活動 3 件、報道など 11 件、客員・委員など 10 件、企画 2 件(コロナ感染拡大防止のための開催延期を含む)、講義 5 件の計 73 件を報告します。

※関連資料の請求については、「3. 問合せ先等」を参照し楠城までご連絡下さい。

No.	項目	タイトル、内容など
1-1	論文	K. Z. Nanjo J. Izutsu, Y. Orihara, M. Kamogawa, 2021, Changes in seismicity pattern due to the 2016 Kumamoto earthquake sequence and implications for improving the foreshock traffic-light system, <i>Tectonophysics</i> , 822, 229175, DOI: 10.1016/j.tecto.2021.229175, (日本語解説: <a href="https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20221223-1/">https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20221223-1/</a> ).
1-2	論文	K. Z. Nanjo and A. Yoshida, 2021, Changes in the <i>b</i> value in and around the focal areas of the <i>M</i> 6.9 and <i>M</i> 6.8 earthquakes off the coast of Miyagi prefecture, Japan, in 2021, <i>Earth, Planets and Space</i> , 73, 176, DOI: 10.1186/s40623-021-01511-3, (日本語解説: <a href="https://www.global-center.jp/media/2021114-133151-692.pdf">https://www.global-center.jp/media/2021114-133151-692.pdf</a> ).
2-1	書籍	楠城一嘉編著, 地震と火山と防災のはなし, 成山堂書店 (2022 年 3 月 28 日), <a href="https://www.seizando.co.jp/book/10541/">https://www.seizando.co.jp/book/10541/</a> , <a href="https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20220330/">https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20220330/</a> .
3-1	学術講演	K. Z. Nanjo, Y. Yukutake, A study on detection of low-frequency earthquakes at Mt. Fuji and data quality evaluation, JpGU2022, 2022 年 5 月 22-27 日 ハイブリッド(幕張メッセ), 5 月 29 日-6 月 3 日 オンラインポスター (accepted).
3-2	学術講演	長尾年恭, 楠城一嘉, 鴨川仁, 井筒潤, 地震災害予測のための地球観測データのデジタルアースへの適用 -地震活動度解析の高度化と可視化-, 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点 2021 年度成果報告会, 中部大学中部高等学術研究所国際 GIS センター, 2022 年 3 月 7-8 日, オンライン, <a href="https://www.chubu.ac.jp/news2/detail-4964.html">https://www.chubu.ac.jp/news2/detail-4964.html</a> .
3-3	学術講演	【招待講演】楠城一嘉, 自然地震の地震活動解析について, 研究集会「地震活動の統計モデルと物理的意味」, ハイブリッド(東京大学地震研究所), 2022 年 3 月 8 日.
3-4	学術講演	K. Z. Nanjo, J. Izutsu, Y. Orihara, M. Kamogawa, 2021, The 2016 Kumamoto earthquake sequence implying the possible improvement of the Foreshock Traffic-Light System, 日本地震予知学会 第 8 回学術講演会, 21-13, ハイブリッド(貸会議室ビズモア東京駅八重洲), 2021 年 12 月 25 日, <a href="http://www.eqpsj.jp/posts/news3.html">http://www.eqpsj.jp/posts/news3.html</a> .
3-5	学術講演	【招待講演】楠城一嘉, 2021, 統計科学的手法を用いて地震活動を評価する研究, 統計物理と統計科学のセミナー 統計数理研究所, オンライン, 2021 年 10 月 26 日, <a href="https://sites.google.com/view/ismstatphys/">https://sites.google.com/view/ismstatphys/</a> .
3-6	学術講演	K. Z. Nanjo and Y. Yukutake, 2021, V25D-0142 A preliminary study on low-frequency earthquakes at Mt. Fuji, Japan, using the matched filter method, AGU Fall Meeting 2021, hybrid (New Orleans, USA), <a href="https://agu.confex.com/agu/fm21/meetingapp.cgi/Person/45503">https://agu.confex.com/agu/fm21/meetingapp.cgi/Person/45503</a> , DOI: 10.1002/essoar.10509099.3.

3-7	学術講演	楠城一嘉, 行竹洋平, 野田洋一, 2021, [SCG48-P02] Matched Filter 法を用いて富士山の低周波地震を検知する研究: 序報, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, オンライン, 2021 年 5 月 30-6 月 6 日, <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2021/subject/SCG48-P02/advanced">https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2021/subject/SCG48-P02/advanced</a> .
3-8	学術講演	楠城一嘉, 有吉慶介, 高橋成実, 矢田修一郎, 山本揚二郎, 堀高峰, [SSS06-P02] DONET の観測に基づく地震カタログを品質評価する研究: 序報, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, オンライン, 2021 年 5 月 30-6 月 6 日, <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2021/subject/SSS06-P02/advanced">https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2021/subject/SSS06-P02/advanced</a> .
3-9	学術講演	楠城一嘉, 行竹洋平, 2021, [S09P-09] 富士山直下で起きる低周波地震の研究の序報: Matched Filter 法を用いた地震カタログの作成とカタログの性能評価, 日本地震学会 2021 年度秋季大会, オンライン, 2021 年 10 月 14-16 日, <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/subject/S09P-09/tables?cryptoId=">https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/subject/S09P-09/tables?cryptoId=</a> .
3-10	学術講演	楠城一嘉, 井筒潤, 織原義明, 鴨川仁, 2021, [S09P-08] 2016 年熊本地震前後の地震活動のパターンについて, 日本地震学会 2021 年度秋季大会, オンライン, 2021 年 10 月 14-16 日, <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/subject/S09P-08/tables?cryptoId=">https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/subject/S09P-08/tables?cryptoId=</a> .
4-1	研究費	楠城一嘉, 有吉慶介, 鴨川仁, 高橋成実, 地震津波災害の早期検知・対策の決め手となる地震発生・即時津波統合予測システム構築へ向けた研究, 中部電力 原子力安全技術研究所 公募研究 (一般) (2022 年度) (申請中).
4-2	研究費	湯瀬裕昭, 楠城一嘉, 鴨川仁, 須田潤, 本学設置の自立型防災通信ステーションの学外向けの通信機能強化に関する研究, 静岡県立大学, 令和 4 年度 教員特別研究推進計画書 (申請中).
4-3	研究費	森本達也他, 人材育成教育プログラム開発による健康長寿社会の実現, 静岡県立大学, 令和 4 年度 教員特別研究推進計画書 (申請中).
4-4	研究費	楠城一嘉, 地震の続発性に関する研究: 異なるテクトニクス場を比較して統一的理解を目指す (Space-time clustering properties of earthquakes: A comparative study from different tectonic regimes), 外国人特別研究員候補者 Thystere BANTIDI, 令和 4 年度(2022 年度)第 1 回採用分 外国人特別研究員 (一般) (不採択).
4-5	研究費	有吉慶介, 白旗克志, 楠城一嘉, 農業用地下水開発技術を応用した間隙圧の超高感度観測: ナノスケール歪検出への挑戦, 令和 4(2022)年度挑戦的研究(萌芽) (申請中).
4-6	研究費	庄建倉, 岩田貴樹, 楠城一嘉, 山田真澄, 長期から即時までの時空間地震予測とモニタリングの新展開, 情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト (STAR-E プロジェクト), <a href="https://researcher.jp/projects/view/1156308">https://researcher.jp/projects/view/1156308</a> , <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/subject05.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/subject05.html</a> .
4-7	研究費	楠城一嘉, 行竹洋平, 微小地震データで見る伊東地域のマグマ活動, 令和三年度伊豆半島ジオパーク学術研究助成.
4-8	研究費	楠城一嘉, 高橋成実, 有吉慶介, 地震津波災害の早期検知・対策の決め手となる地震発生・即時津波統合予測システムの開発, 第 52 回 (2021

		年度) 三菱財団自然科学研究 (不採択).
4-9	研究費	有吉慶介, 楠城一嘉, 美山透, 山本 揚二郎, Anca Opris, 黒潮蛇行が地震活動・地殻変動に与える影響の考察, 南紀熊野ジオパーク研究助成 (不採択).
4-10	研究費	楠城一嘉, 行竹洋平, 富士山噴火予測の決め手となる地面の揺れのデータを使った監視システムの開発, 2021 年度 環境研究助成 (不採択).
4-11	研究費	長尾年恭, 上嶋誠, 鴨川仁, 楠城一嘉, 多角的な監視による富士山の噴火予測精度高度化の研究, 科学研究費, 令和 2 年度(2020 年度) 基盤研究 (C) (一般), 2021-2023 年度.
5-1	報告書	Fact Sheet 2022, Certificated Nonprofit Organization MOUNT FUJI RESEARCH STATION (MFRS), January 1 <sup>st</sup> , 2022.
5-2	報告書	要覧 2022 認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会, 2022 年 1 月 1 日.
5-3	報告書	The Institute of Statistical Mathematics, Activity Report, 2019.4-2021.3, ページ 16-17, 69.
5-4	報告書	楠城一嘉, 熊本地震の本震前に本震発生の兆候を示す特徴があったことを発見, 静岡県立大学トピックス, <a href="https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20221223-1/">https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20221223-1/</a> .
5-5	報告書	楠城一嘉, 地面の揺れのビックデータから富士山の平時の姿を明らかにする研究, ふじのくに地域・大学コンソーシアム 令和 2 年度共同研究助成 成果報告, <a href="https://www.fujinokuni-consortium.or.jp/wp-content/uploads/2021/05/85d04afe4d0709292b4b290e8ef28085.pdf">https://www.fujinokuni-consortium.or.jp/wp-content/uploads/2021/05/85d04afe4d0709292b4b290e8ef28085.pdf</a> .
5-6	報告書	楠城一嘉, 地震のモデリングに関する統計物理学的研究, 統計数理研究所 年報 令和 3 年度版, 110-111 ページ, <a href="https://www.ism.ac.jp/editsec/Nenpou/index.html">https://www.ism.ac.jp/editsec/Nenpou/index.html</a> .
5-7	報告書	02 グローバル地域センターでの調査研究, 静岡県立大学総合案内 2022, 62 ページ, <a href="https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/guidebook2021_2022_Part2.pdf">https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/guidebook2021_2022_Part2.pdf</a> .
5-8	報告書	楠城一嘉, b 値の時空間分布による太平洋沖の地震活動度の評価研究, 2. 研究助成事業 (2) 地震分野, 「友情の絆」第 22 号 2021, 公益財団東京海上各務記念財団, 40 ページ, <a href="http://www.kagami-f.or.jp/history/history.html#03">http://www.kagami-f.or.jp/history/history.html#03</a> .
6-1	一般向講演	楠城一嘉, 研究発表会(ちゅうでん サイエンス・フォーラム), 2022 年 7 月 23 日.
6-2	一般向講演	楠城一嘉, ママさん講座, 矢田公民館, 2022 年 6 月 5 日.
6-3	一般向講演	楠城一嘉, 南海トラフのプレート境界の固着状態を地震活動に基づいて監視する技術開発, 中部電力原子力安全技術研究所, 2022 年 3 月 10 日.
6-4	一般向講演	楠城一嘉, 微小地震データで見る伊東地域のマグマ活動, 第 7 回伊豆半島ジオパーク 学術研究発表会 ウェブカンファレンス, 2022 年 3 月 19 日-4 月 15 日, <a href="https://izugeopark.org/conference/2022_nanjo/">https://izugeopark.org/conference/2022_nanjo/</a> , <a href="https://www.youtube.com/watch?v=SdRxXUhmYs8">https://www.youtube.com/watch?v=SdRxXUhmYs8</a> .
6-5	一般向講演	楠城一嘉, 地震・火山活動を知って備える: 静岡 SDGs への第一歩, 国際シンポジウム「防災×環境×SDGs」, オンライン, 2022 年 2 月 11 日, <a href="https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220211/">https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220211/</a> .

6-6	一般向講演	楠城一嘉, 地面の揺れのビックデータから富士山の平時の姿を明らかにする研究, 共同研究事業 No. 2, 第 7 回ふじのくに地域・大学フォーラム, オンライン, 2022 年 2 月 11 日, <a href="https://www.fujinokuni-consortium.or.jp/introduction/course08/course08_1/">https://www.fujinokuni-consortium.or.jp/introduction/course08/course08_1/</a> .
6-7	一般向講演	楠城一嘉, 2021 年度 第 4 期講座「静岡で知っておきたい地震と火山と防災」～こども防災講座～, 静岡県地震防災センター, 開催延期, <a href="https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220129/">https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220129/</a> .
6-8	一般向講演	楠城一嘉, Lessons learnt from earthquake disaster lead to innovation, WWL コンソーシアム構築支援事業, 2021 FALCon 高校生国際会議@Mishima, 2021 Fujinokuni Advanced Learning CONSortium International High School Student Conference @ Mishima, 2021 年 9 月 17-20 日, 静岡県立三島北高等学校 ( <a href="https://falcon2021.jp/">https://falcon2021.jp/</a> ), 8, 51 ページ, <a href="https://drive.google.com/file/d/12a1V1GiZJL6jaEunOXpucWtT3UPJEV5k/view">https://drive.google.com/file/d/12a1V1GiZJL6jaEunOXpucWtT3UPJEV5k/view</a> .
6-9	一般向講演	楠城一嘉, 課題設定に基づく研究計画へのアドバイス(7月7日), 解決方法と具体的なアクションについてのアドバイス(10月6日), 静岡県立三島北高等学校 WWL コンソーシアム構築支援事業, 静岡県立三島北高等学校, 2021 年 7 月 7 日, 10 月 6 日.
6-10	一般向講演	楠城一嘉, 県大らしい SDGs へ向けた取組みは何だろう?～防災の視点から～, 静岡県立大学 2021 年度 第 2 回 SDGs サロン, 2021 年 6 月 23 日.
7-1	学会活動	楠城一嘉, 直井誠, コンビーナ セッション S-SS11 地震活動とその物理, JpGU2022, 2022 年 5 月 22-27 日 ハイブリッド(幕張メッセ), 5 月 29 日-6 月 3 日 オンラインポスター, <a href="https://www.jpгу.org/meeting_j2022/sessionlist_jp/detail/S-SS11.html">https://www.jpгу.org/meeting_j2022/sessionlist_jp/detail/S-SS11.html</a> , <a href="https://www.jpгу.org/meeting_e2022/sessionlist_en/detail/S-SS11.html">https://www.jpгу.org/meeting_e2022/sessionlist_en/detail/S-SS11.html</a> .
7-2	学会活動	地震学会 2021 年度秋季大会学生優秀発表賞審査員, <a href="https://www.zisin.jp/awards/excellence2021.html">https://www.zisin.jp/awards/excellence2021.html</a> .
7-3	学会活動	日本地震学会大会・企画委員会地震学夏の学校担当, 地震学夏の学校 2021 (テーマ: 沈み込み帯地震学 A to Z), 2021 年 9 月 6-8 日, <a href="https://www.zisin.jp/event/summer_school2021.html">https://www.zisin.jp/event/summer_school2021.html</a>
8-1	報道など	地震と火山と防災のはなし 楠城 一嘉 編著, <a href="https://www.global-center.jp/review/publication/2022/">https://www.global-center.jp/review/publication/2022/</a> .
8-2	報道など	県立大 自然災害研究強化, 地震以外にも幅広く発信 22 年度改組へ, 静岡新聞, 2022 年 2 月 21 日.
8-3	報道など	県立大・尾池学長 一問一答, 静岡新聞, 2022 年 2 月 21 日.
8-4	報道など	静岡新聞朝刊に楠城一嘉理事の日本地震学会発表に関する記事が掲載, 芙蓉の新風(認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会 会報 Vol. 16), 5 ページ, 2022 年 1 月 1 日.
8-5	報道など	国際シンポジウム「防災×環境×SDGs」鴨川専務理事と楠城理事が講演します。、太郎坊のそよ風 認定 NPO 法人 富士山測候所を活用する会 オフィシャルブログ, 2022 年 02 月 02 日, <a href="http://npofuji3776.blog.jp/archives/1079980115.html">http://npofuji3776.blog.jp/archives/1079980115.html</a> .

8-6	報道など	火山研究の拡充は国家の急務 富士山は大丈夫なのか, 選択, 106-107, 2022 年 1 月号.
8-7	報道など	熊本「本震」兆候、統計処理で解析 静岡県立大・楠城特任准教授ら, 静岡新聞, 2021 年 12 月 24 日, <a href="https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1004285.html">https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1004285.html</a> .
8-8	報道など	「富士山の低周波地震 1 万回検知」楠城理事の研究発表が静岡新聞に, 太郎坊のそよ風 認定 NPO 法人 富士山測候所を活用する会 オフィシャルブログ, <a href="http://npofuji3776.blog.jp/archives/1079570576.html">http://npofuji3776.blog.jp/archives/1079570576.html</a> .
8-9	報道など	富士山の低周波地震 1 万回検知 県立大など研究グループ 気象庁の 10 倍「観測体制の拡充に」, 静岡新聞, 2021 年 10 月 13 日, <a href="https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/971775.html">https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/971775.html</a> .
8-10	報道など	楠城一嘉, 2021, 東京湾岸の発電所・プラント火災の可能性, そのときどうする? [8 月富士山大噴火]に備えよ, 週間 Spa 7/20・27 合併号, 2021 年 7 月 13 日.
8-11	報道など	NHK, 今回の一連の地震 専門家“地震対策の確認を”, たっぷり静岡, 2021 年 4 月 22 日, <a href="https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20210422/3030011238.html">https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20210422/3030011238.html</a>
9-1	客員・委員など	北上しらゆり大使, 2020 年 7 月-(継続中), <a href="https://www.city.kitakami.iwate.jp/material/files/group/4/20201127_all2.pdf">https://www.city.kitakami.iwate.jp/material/files/group/4/20201127_all2.pdf</a> . <a href="https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kitkamishinoshokai/gaiyou/12617.html">https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kitkamishinoshokai/gaiyou/12617.html</a>
9-2	客員・など	日本学術振興会審査委員候補者, 2020 年 4 月-(継続中)
9-3	客員・など	認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会理事, 2021 年 7 月 1 日, <a href="https://npofuji3776.org/about/profile.html">https://npofuji3776.org/about/profile.html</a> .
9-4	客員・委員など	静岡大学客員准教授, 地震発生予測システムの研究に関する指導・助言, 2021 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日, <a href="https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/about/">https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/about/</a> .
9-5	客員・委員など	静岡県立大学地震対策部会, 2018 年 6 月-(継続中).
9-6	客員・委員など	日本地震学会大会・企画委員会委員 (2021-2022 年度), <a href="https://www.zisin.jp/org/organization_standing03.html">https://www.zisin.jp/org/organization_standing03.html</a> .
9-7	客員・委員など	情報・システム研究機構統計数理研究所客員准教授, 地震のモデリングと予測に関する統計物理学的研究, 2022 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日.
9-8	客員・委員など	情報・システム研究機構統計数理研究所客員准教授, 地震のモデリングと予測に関する統計物理学的研究, 2021 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日, <a href="chrome-extension://efaidnbmninnibpcajpegclclefindmkaj/viewer.html?pdfurl=https%3A%2F%2Fwww.ism.ac.jp%2Fgaiyo-news%2Fyouran%2F2021.pdf&amp;clen=5480154&amp;chunk=true">chrome-extension://efaidnbmninnibpcajpegclclefindmkaj/viewer.html?pdfurl=https%3A%2F%2Fwww.ism.ac.jp%2Fgaiyo-news%2Fyouran%2F2021.pdf&amp;clen=5480154&amp;chunk=true</a> .
9-9	客員・委員など	NISTEP 専門調査員, 「科学技術専門家ネットワーク」におけるインターネットを介した情報収集への協力(アンケート回答や情報提供など),

	ど	2022 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日.
9-10	客員・委員など	NISTEP 専門調査員, 「科学技術専門家ネットワーク」におけるインターネットを介した情報収集への協力(アンケート回答や情報提供など), 2021 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日.
10-1	企画	2021 年度 第 4 期講座「静岡で知っておきたい地震と火山と防災」～こども防災講座～, 静岡県地震防災センター, 開催延期, <a href="https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220129/">https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220129/</a> .
10-2	企画	国際シンポジウム「防災×環境×SDGs」, オンライン, 2022 年 2 月 11 日, <a href="https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220211/">https://www.global-center.jp/holding_guidance/20220211/</a> .
11-1	講義	楠城一嘉, 伊豆半島の地史から読み解くしずおか学, 静岡県立大学 2021 年度前期「歴史から読み解くしずおか学」講義, 2021 年 4 月 28 日.
11-2	講義	楠城一嘉, 地震・防災に関する政治経済事情, 静岡県立大学 2022 年度前期「グローバル政治経済事情」講義, 2022 年 6 月 14, 21, 28 日.
11-3	講義	楠城一嘉, 地震・防災に関する政治経済事情, 静岡県立大学 2022 年度前期「グローバル政治経済事情」講義, 2021 年 6 月 15 日.
11-4	講義	楠城一嘉, 地震予知とリスクとしての考え方, 2021 年度 静岡県立大学令和 4 年度「静岡の防災と医療」講義, 2022 年 4 月 27 日.
11-5	講義	楠城一嘉, 地震予知とリスクとしての考え方, 2021 年度 静岡県立大学令和 3 年度「静岡の防災と医療」講義, 2021 年 4 月 21 日.

### 3. 問合せ先等

#### 2021 年度報告書(楠城一嘉)

静岡県立大学 グローバル地域センター 地震予知部門

2022 年 4 月 発行

著 者 静岡県立大学 グローバル地域センター 地震予知部門 楠城一嘉

発行所 静岡県立大学 グローバル地域センター

問合せ先 | 静岡県立大学 グローバル地域センター 地震予知部門 楠城一嘉

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 2 階

TEL 054-245-5600 FAX 054-245-5603

E メール : nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

URL: <http://global-center.jp>

#### Annual Report FY2021 of K. Z. Nanjo

Division for Earthquake Prediction Research, Global Center for Asian and Regional Research,  
University of Shizuoka

Author | Kazuyoshi Z. Nanjo, Division for Earthquake Prediction Research, Global Center for Asian  
and Regional Research, University of Shizuoka

Published by Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka, April 2021

Contact | Kazuyoshi Z. Nanjo, Division for Earthquake Prediction Research, Global Center for Asian  
and Regional Research, University of Shizuoka

3-6-1, Takajo, Aoi-Ku, Shizuoka-City, Shizuoka Prefecture, 420-0839, Japan

Tel: +81-54-245-5600 Fax: +81-54-245-5603

E-mail: nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

URL: <http://global-center.jp>